

★ プロフィール ★

★小川真知子

1978年日本女性学研究会に入会、84年コマーシャルの中の男女役割を問い直す会の設立に参加。以来ジェンダーとメディアの問題をメディアリテラシーを使って解き明かす講座を開催。94年より兵庫県立女性センターの情報アドバイザーとして勤務。95年の阪神淡路大震災では電話相談にも対応した。1999年西宮市男女共同参画センター専門職員を経て現在NPO法人SEAN(シーン)理事長。

★榎熊 憲子

長岡市出身。ウィメンズスタディズ・ネットワーキングで女性学を学び続けている。

「男女(ひと)がともに生きる社会を進めるF&Mながおか市民会議」(1992年)の立ち上げから関わり現在代表。女性8人と『新潟県中越地震「わたしの震災復興」を推進する会』を立ち上げ、新潟県中越地震5周年復興祈念事業を行い、記念誌「忘れない。」を発行。第2次ながおか男女共同参画基本計画策定委員、長岡市男女共同参画社会基本条例検討委員として参画。長岡市男女共同参画審議会委員 新潟県防災会議委員 長岡市防災会議委員 他

★鈴木千栄子

新潟県長岡市在住。

1997年発足の、女性学の視点で身の回りの出来事を洗い直し考える学習会ウィメンズスタディズ・ネットワーキングに参加。2002年～現在グループの代表を務める。

2008年発足の、新潟県中越地震「わたしの震災復興」を推進する会に参加。

いろいろ見えてくる女のミニコミ「マイマイ族」同人。趣味はフラダンスと書道。

★宗片恵美子

2003年、男女共同参画の実現に向けて活動するイコールネット仙台の立ち上げにかかわり、団体が受託した仙台市男女共同参画推進センターエル・パーク仙台市民活動スペースの管理運営に携わっている(代表理事)。

活動テーマは生活すべて、特に、防災・災害復興は重要ととらえて、2008年には「災害時における女性のニーズ調査」を仙台市内の女性を対象に実施。

震災以降は、避難所や仮設住宅で被災女性を対象に支援活動や調査活動に取り組んだ。現在は、地域防災の担い手となる女性の防災リーダーの育成に取り組むなど女性視点による災害復興を提案している。

★青木八重子

2008年、流山市主催、NPO法人パートナーシップながれやまが企画運営する男女共同参画講座を受講し、2010年に修了生仲間と「流山子育てプロジェクト」を発足(代表)。

東日本大震災以降、防災啓発活動に取り組み「私にもできる防災・減災ノート in 流山」「多言語の防災ガイドブック」を発行。防災キャラバン隊「防災寺子屋 sole!(そ~れ)」を結成し、自治会などで講演活動を行う。NPO法人パートナーシップながれやまと共に第20回防災まちづくり大賞消防庁長官賞、平成28年度防災功労者内閣総理大臣賞、受賞。

◆ 申込み要領 ◆

参加費(資料代含む): 1000円

定員: 70名(先着順)

申込み方法: 名前(ふりがな)、連絡先(電話番号)を記してEmailまたはFaxでお申込みください。

お申込みの際の個人情報は本企画の事務連絡に使用します。

申込み先: Email / maisonblanc305@gmail.com

Fax / 06-6684-9679

当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

問合せ: Tel / 06-6684-9678

ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)



<交通アクセス>

*京阪または地下鉄谷町線 *JR 東西線
「天満橋駅(1番出口)」より 「大阪城北詰駅(2番出口)」より
東へ約350m 西へ約550m

FAX 申し込み
(06-6684-9679)

「復興・防災と女性の活動」申込み	
ふりがな	
氏名	
連絡先 (電話番号)	